

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
鹿児島市	吉野町東菖蒲谷（東菖蒲谷・中別府）	令和4年2月28日	－

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	11.9ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	6.9ha
③地区内における65才以上の農業者の耕作面積の合計	4.5ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	3.3ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.3ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.1ha
(備考)	

## 2 対象地区の課題

高齢化が進み、農地の遊休化が進んでいる。特に、露地畑については、担い手不足が深刻。  
市街化が進み、農地の流動化が困難であり、遊休化した施設も点在しており、再利用が進んでいない。  
農地の有害鳥獣被害が課題。  
施設の老朽化が進んでおり、既存の畑かん施設や農業用ハウスの修繕が課題。

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

## 【東菖蒲谷】

東菖蒲谷畑かん地区の施設や露地畑は、認定農業者5経営体が担っていくほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者等の受入れを促進することにより対応していく。

畑かん地区以外の施設や露地畑は、認定農業者2経営体と畜産を主とする1経営体が担っていくほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者等の受入れを促進することにより対応していく。

## 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

継続的に農業経営が出来るよう既存の畑かん施設や農業用ハウスの長寿命化を図ることにより既存施設の有効活用を図る。

露地畑は、有害鳥獣被害や担い手不足が課題となるため、地域で話し合いを継続しながら、有害鳥獣対策や集落で農地を維持していく体制について検討していく。

中心経営体

属性	経営体 (氏名)	経営者 代表者 の年齢	構成員 (従業員)	後継者の有無	現状		今後の農地の引受けの意向		
					経営内容 (作目)	経営規模 (h a)	経営内容 (作目)	経営規模 (h a)	農業を営む範囲
認農	A	50 歳	3 人	無	花壇苗・鉢花類 花木類	0.23 ha	花壇苗・鉢花類 花木類	0.23 ha	東菖蒲谷
認農	B	34 歳	4 人	無	軟弱野菜	0.48 ha	軟弱野菜	0.58 ha	東菖蒲谷
認農	C	74 歳	3 人	有	花壇苗・野菜苗 鉢花類	0.17 ha	花壇苗・野菜苗 鉢花類	0.17 ha	東菖蒲谷
認農	D	64 歳	3 人	無	軟弱野菜 露地野菜	0.30 ha	軟弱野菜 露地野菜	0.40 ha	中別府
認農	E	59 歳	3 人	有	花壇苗 花木類	0.15 ha	花壇苗 花木類	0.15 ha	中別府
認農	F	61 歳	3 人	無	軟弱野菜 露地野菜	0.46 ha	軟弱野菜 露地野菜	0.46 ha	東菖蒲谷
計						1.49 ha		1.59 ha	